



次世代へつなぐ強靱で安心な水道を目指して！

# 広報 山武水道



発行：山武郡市広域水道企業団  
企画財政課 企画班  
〒283-0062 東金市家徳 361-8  
☎0475 (55) 7851 (代表)  
http://www.water-sansui-ki.jp  
ホームページは「山武水道」で検索  
e-mail:kikaku@water-sansui-ki.jp

## 令和2年度決算の概要

令和3年8月23日に開催されました企業団議会8月定例会において、令和2年度の決算が次のとおり認定されました。

### ■決算の概要

令和2年度は、「中長期経営プラン2016」（平成28年度～令和7年度）の基本理念である『次世代へつなぐ強靱で安心な水道』を実現するため、計画に掲げる事業を着実に推進しながら、安全で安心な水道水の安定供給に努めてまいりました。

### ■財政状況

収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）は、総収益が49億5,848万円、総費用が44億6,315万円を計上しました。

資本的収支（消費税及び地方消費税込み）は、企業債、国庫補助金及び工事負担金の4億3,470万円を財源として、建設改良費等に20億1,263万円支出し、不足額15億7,793万円は内部留保資金などで補てんしました。

### ■業務状況

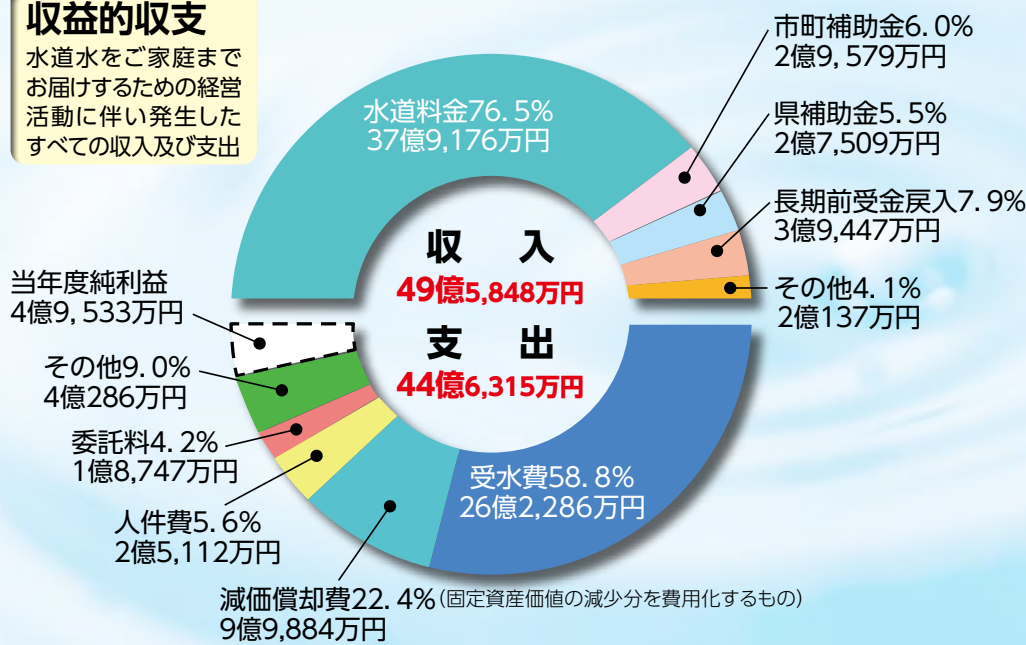
給水人口は15万3,663人で、普及率は93.3%です。  
年間総給水量は1,828万1,920m<sup>3</sup>で、前年度と比較して3万8,980m<sup>3</sup>の減、年間有収水量は1,632万2,175m<sup>3</sup>で24万6,509m<sup>3</sup>の増となり、この結果、有収率は前年度に対して1.6ポイント増加し89.3%となりました。

### ■主要な建設改良事業

配水管改良事業で基幹管路及び重要給水施設配水管耐震化工事等を行い、配水管布設事業及び配水管移設事業と併せて、延べ8,907.4mの配水管を整備し12億6,226万円支出したほか、配水池整備事業で松尾配水場場内連絡管更新工事等を行い2億926万円支出し、電気設備事業で大網配水場電気設備更新工事等を行い3億385万円支出しました。

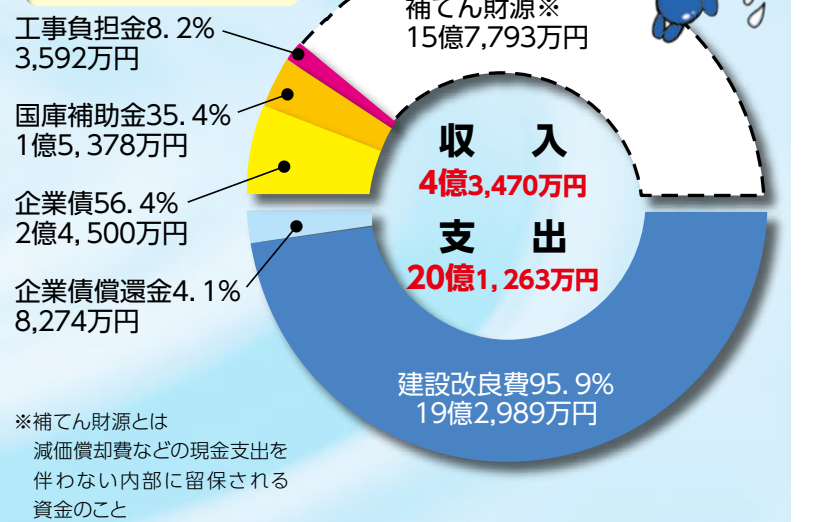
### 収益的収支

水道水をご家庭までお届けするための経営活動に伴い発生したすべての収入及び支出



### 資本的収支

水道施設を建設・改良するために要した収入及び支出



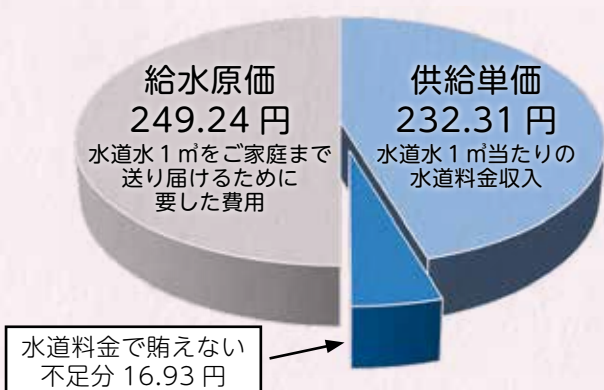
※補てん財源とは減価償却費などの現金支出を伴わない内部に留保される資金のこと

以上が決算の概要です。今後とも社会経済情勢の変化による水需要の動向等見据えながら、経営の健全化を推進していくとともに、より質の高い給水サービスの実現を目指し、なお一層の経営努力を重ねてまいります。

## 山武水道の水道料金について

水道料金は、水道法で「適正な原価に照らし公正妥当なものであること。」とされておりますが、山武水道の給水区域内には取水可能な水源（表流水、地下水等）がないため利根川を水源とした九十九里地域水道企業団から購入する浄水（受水費：58.8%）や、水道施設（固定資産）の減価償却費（22.4%）

1m<sup>3</sup>当たり（令和2年度決算数値）



などの固定的経費が費用全体の8割を占め、左図のとおり「給水原価」が「供給単価」を上回り原価回収ができていない状況にあります。

本来であれば、地方公営企業の経営は、経費の支払いに料金収入をもって充てる独立採算制を基本原則としておりますが、山武水道では水道事業という高い公共性に鑑み、不足分16.93円を千葉県及び構成市町からの補助金で賄うことで、現在の水道料金を維持しています。

## 基本の手洗いで感染予防対策を

### 手洗いの4つのタイミング

- 公共の場所から帰ってきた時
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ご飯を食べる前後
- 外にあるものに触った時

身近にある水道水で手洗いを習慣づけ、毎日元気に過ごしましょう。

